

編 集 後 記

今年もカットは彌永たたえ先生にお願いしています。昨年の秋から、手描きの野線や震災の記事の「あかり」、月毎のテーマ（目次の左すみにあります）など、色々と試みてくださっています。本文とともに、カットもお楽しみいただけたらと思っています。

*

今月の「震災後の子どもたち」の「長男と野球と震災」を読んでいると、伊勢湾台風のことを思い出されました。

そのとき、私は六年生でした。名古屋市の南部が堤防の決壊で海水に浸かり、五千人を越す死者を出し、

その後、二か月もの間、海水は引きませんでした。そんな大災害であったにもかかわらず、私が思い出すのは、運動会がなくなり佐渡おけさの踊れなかったことであり、修学旅行が春に終わっていてよかった、ということでした。

この思い出し方を、私は長い間不思議に思っていました。けれども、この記事を読んで、私にとつての「伊勢湾台風」は、小学校生活最後の「六年生」という時期を、それまで思い描いていたイメージと違うものにした体験だったのだ、ということに気づかされました。

この子も大人になって、「阪神大震災」という言葉を聞くと、そのとき六年生だったこと、野球が思っていたとおりにできなかったことを思い出すのでしょうか。（A）

幼児の教育

第九十五巻 第二号

（一九九六年二月号）

定価四五〇円（本体四三七円）

発行 平成八年二月一日

編集兼発行人 田代和美

発行所 日本幼稚園協会

〒112東京都文京区大塚二一一一

お茶の水女子大学附属幼稚園内

印刷所 図書印刷株式会社

〒108東京都港区三田五一一二

発売所 フレーベル館

〒113東京都文京区本駒込 六一一四一九

六一一四一九

☎〇三一一五三九五―一六六一三（営業

☎〇三一一五三九五―一六六〇四（編集

振替 〇〇一九〇一二―一九六四〇

☆ 本誌ご購入のご注文は発売所「フレーベル館」にお願いします。